

軸となる取組・活動

家庭学習の定着と推進

義務教育卒業時につけたい力

夢をもち、未来を切り拓く力

- ・基礎・基本的な知識・技能を習得し、未来を拓いていくことのできる子ども
- ・知識・技能を活用して、課題を解決する思考力・判断力・表現力から、未来を拓いていくことのできる子ども
- ・「自ら学ぶ力・自らを律する力」を身に付け、未来を拓いていくことができる子ども

学年または学年区分ごとにめざす姿

毎日学習する習慣をつけ、計算・漢字など練習しなくては身につかない学習をしっかりとできる。	学校で習った学習内容をしっかりと定着させることや、自主学習ノートなどを活用し、自らすすんで学習を進めていくことができる。	繰り返して取り組む学習だけではなく、子どもが自ら学ぶ課題を設定し、自主学習を行うことができる。	① 繰り返して定着…スキル型 ② 学習の整理・確認…復習・繰り返し型 ③ 学習の続きや予習…予習・拡充型 ④ 興味をもったことを調べる…調べ・探究型 4つの型に分け、家庭学習の充実をはかり、自ら学ぶ姿勢を養う。 基礎学力の充実をはかる。					
小1 (1年)	小2 (2年)	小3 (3年)	小4 (4年)	小5 (5年)	小6 (6年)	中1 (7年)	中2 (8年)	中3 (9年)

取組・活動

伏見板橋小学校						伏見中学校		
漢字ドリル1P 算数プリント1枚 または算数ドリル 音読 計算カード (週末は) (国・算で自主学習) 日記 目安 30分	<月～木曜日> 漢字ノート2P 計算ドリル1P または算数プリント <金曜日> 日記 自主学習…国語1P 算数1P <毎日> 音読 九九暗唱 目安 30分	漢字ノート1P または漢字ドリル 算数プリント2枚 または計算ドリル 音読 リコーダー (週末はさらに) 日記・読書・自主学習 目安 45分	漢字ノート1P 計算ドリル1P 音読 自主学習週2回 週末は日記 目安 60分	漢字ノート1P または漢字ドリル 計算ドリル1P または算数プリント 音読 自主学習毎日 週末は日記 目安 75分	漢字ノート1P または漢字ドリル 計算ドリル1P または算数プリント 音読 自主学習週2回 週末は日記 目安 90分	週末課題 1教科 専門教科より ●確認プログラムテスト・全国学力調査の分析を活用し、 予習シート・復習シートなどを活用する ● A漢字プリントや、単語プリントなど繰り返し行わなければいけない繰り返して定着させる…スキル型プリント B問題冊子・問題集などを活用し、授業で学んだことの整理・確認をさせる…繰り返し型課題 C各教科でワークシートやノートに、興味をもったことを調べ、自ら学ぶ課題を設定し、ノートにまとめる…調べ探究型課題 ※Cタイプの課題を解決する手段として 昼休み・放課後などに、学校図書館を開放し、学習ステーションとして活用する。得た情報をもとに、家庭での学習へとつなげる。		
伏見住吉小学校								
漢字ノート1P 算数プリント1枚 音読・計算カード 12月より 週末に日記 目安 20分	漢字ノート1P 算数プリント1枚 or ワーク1枚 音読、九九暗唱 週末はさらに 日記・読書 目安 30分	漢字ノート1P 計算ドリル1P 音読 or 日記 リコーダー 目安 45分	漢字ノート1P 計算ドリル1P (算数プリント1枚) 音読 自主勉強1P (年明けからは2P) 目安 60分	漢字ノート1P 計算ドリル1P 音読 自主勉強 目安 75分	漢字ノート10問 or 新出漢字 計算ドリル1P or 算数プリント 音読 自主勉強 目安 90分			
下鳥羽小学校								
漢字ノート半ページ 算数・言葉プリント (表裏1P) 音読 計算カード 目安 15分	漢字ドリルノート1P 計算ドリル(1P) 音読 九九カード あのね帳(週末) 目安 30分	漢字ドリルノート1P 算数プリント または 計算ドリル(1P) 音読 リコーダー 自主学習(週末) 目安 45分	漢字ノート2P (新出漢字・文) 計算ドリル(1P) 音読 自主学習(半ページ) 目安 60分	漢字ノート(2P) (新出漢字・文) 計算ドリル(1P) 音読 自主学習(2P) 目安 75分	漢字・計算ドリル (それぞれ1P) または プリント(4教科) 音読 自主学習(2P) 目安 90分			

中学校ブロックとしての取り組み

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	中学 1年生(7年生)	中学 2年生(8年生)	中学 3年生(9年生)
鉛筆を正しく持ち、字を書くことや、ひらがな・カタカナが読めて書けるようにする。また、80字の担当漢字が読めて、漢字が書けることや、助詞(へ、に、を、は)を適切に使い分けて文章を書ける力をつける。	160字の担当漢字が読めたり書けたりすることや、相手に自分の意志や考えを伝える際に、順序よく話す力をつける。また、学習した文章をすらすら音読できるようにする。算数に関しては、九九がすらすら言える。定規を使って筆算をきれいに書きながら計算できるようにする。	200字の担当漢字が書ける。また、短い詩が暗唱できることや、簡単なことわざが言える。主語・述語の意味がわかる。算数に関しては、わり算ができるようになる。	200字の担当漢字が書ける。ローマ字を適切に読み書きできるようにする。文と文のつながりを考えながら、指示語や接続語を使う力をつける。国語辞典・漢和辞典を正しく使うことができる。コンパスを使って簡単な図形がかける。分母の同じ分数のたし算・ひき算ができるようにする。	185字の担当漢字が読め、漢字が書ける。また、今まで習った漢字を使った熟語が書けるようにする。小数のかけ算、わり算ができ、分母の違う分数のたし算・ひき算ができる力をつける。	小学校で習得すべき漢字が読め、漢字が書ける。小学校で習う漢字を使った熟語が書ける。また、分数のかけ算・わり算ができ、もとにする量がわかる力をつける。	●家庭学習の充実をはかり、自ら学ぶ姿勢を養う。 ●基礎学力の充実をはかる。 この2点を重点目標とし、家庭学習をより発展させていくことで、子どもの進路実現へとつなげていく。そこで、自分で意欲や疑問をもちながら、知識を生かし、見通しをもって考える力を養う。 また、家庭学習を毎日継続することで、しっかりとした考え方や集中力だけでなく、学習習慣が身につく、困難なことに出会ってもくじけず積極的にチャレンジしようとする力をつけさせたい。 そのために、単語プリントなどの繰り返し行い力を定着させる『スキル型』の学習課題だけでなく、家庭学習が「したくなる。」課題や、投げかけを行い、『調べ・探究型』の課題設定なども行う。学校図書館の放課後開放などを行い、家庭学習の定着が、子どもの主体性や自律性を伸ばし、目標をもって人生を心豊かに生きる力となり、将来への大きな財産へとつながることを意識させていきたい。		
						全国学力調査の生徒アンケート紙や学校内アンケートの結果から、家庭学習に課題が多く残る。繰り返し型の家庭学習課題や、各教科で成績に反映すると考えられる課題に関しては、取り組んでいる傾向にあるが、自ら課題を設定し、自主勉強に取り組み時間や、姿勢については大きく下回っている。各教科では、定期テスト後に、ノートを点検することや、自主学習のススメを提示し、まずは自主学習を行う習慣を定着させる取り組みから、自ら学ぶことのできる生徒を目指している。		

軸となる取組・活動

※小中一貫教育構想図の実践に向けて、軸となる取組・活動について、つきたい力を明確にした上で、中学校ブロックまたは各学校で取り組む内容を、学年または一定の学年区分ごとに記載してください。(適宜、学年または一定の学年区分ごとに、実線・枠等の記入や点線の消去をしてください。)

キャリア教育

義務教育卒業時につきたい力								
夢をもち、未来を切り拓く力								
<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学ぶ意欲と力をもつ子ども ・互いを認め、自らを律することのできる子ども ・地域のことを知り、将来、街づくりの主体者となれる子ども 								
学年または学年区分ごとにめざす姿								
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々に触れ、生活や特産物等に調べることで、その思いを知り、郷土愛をもつ。 ・課題解決のための計画を立てて、取り組むことができる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・情報を収集し、それを整理しながら、計画的に課題解決に向かえる力をつける。 ・よりよい未来を実現するために、社会体験型の学習を積極的に起こない、地域や社会にどのようにしたら、貢献したり参画したりすることができるのかを考えることができる。(社会貢献、社会参画を積極的に実践できる子どもの育成) 			<ul style="list-style-type: none"> ・3年間を通して、未来を拓く力、夢を実現させるための力として「自ら課題を見つけ、それを研究の材料として探究活動を進めて、課題を解決する力」「探究活動の中でインタビュー等やポスター形式の発表におけるやりとりの中で人とかかわる力」「探究活動によって得た知識を、将来の自分の生活に生かすための、知識を活用する力」を身につける 		
小1 (1年)	小2 (2年)	小3 (3年)	小4 (4年)	小5 (5年)	小6 (6年)	中1 (7年)	中2 (8年)	中3 (9年)
取組・活動								
<伏見板橋小学校の取組> ・にこにこ会 ・あきといっしょに(幼小連携) ・防火コンサートや学習発表会リハーサルへ招待(保幼小連携) <伏見住吉小学校の取組> ・区民運動会ダンス(保幼小接続) <下鳥羽小学校の取組> ・みんなのにこにこだいさくせん <伏見中学校区三小学校の取組>		・なかよし会 ・ぐんぐんそだて おおきくそだて ・なかよしフェスティバル(保幼小接続) ・大すきいっばいわたしのまち ・下鳥羽ふれあいカーニバル ※11月19日実施「下鳥羽ふれあいカーニバル」にて販売	・いきいき食育チーム ・地域に住むお年寄りとふれ合う昔 ・下鳥羽ふれあいカーニバル ※11月19日実施「下鳥羽ふれあいカーニバル」にて販売	・やさしさ発見 ・携帯電話教室 ・伏見の水に携わる人々 ・未来のわたしたちへ ・二分の一人式 ・モノづくりの殿堂	・環境学習 ・見つけよう未来の自分 ・下鳥羽ふれあいカーニバル ※11月19日実施「下鳥羽ふれあいカーニバル」にて販売 ・エコライフチャレンジ(下鳥羽校は4年生で実施) ・スチューデントシティ学習	・京都の魅力をさがそう ・輝く自分プロジェクト ・環境学習 ・伝統文化体験 ・京都の魅力をさぐるろう	<伏見中学校の取組> ・豆記者体験 ・京都・伏見探究(地元を知る) ・チャレンジ体験 ・京都と沖縄の比較(他地域との比較)	
<中学校ブロックとしての取組>		<ul style="list-style-type: none"> ・地域について調べることで、伏見に知り、地域の人々がもつ伏見の誇りを感じさせることで、自分も地域の一員であることを自覚させる。 ・調べたことをまとめて、わかりやすく発表する力をつける 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きに触れ、伏見及び京都の歴史に対する理解を深めるとともに、郷土愛を深める ・体験活動を通して、生活と関連させることで、社会のしくみを知り、その社会において自らの生き方について考えさせる ・集めた情報から、必要なものを選択し、課題解決に向けてまとめ、プレゼンテーション等を使って発表する力をつける 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域で働く方と接することで、「働く」意義について考える。 ・仕事に対して大人が持つ思いを学び、将来の生き方について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元についての知識を深め、地域の魅力を発見する ・職業体験を通して、自らの将来の働き方を考える力を育成する 	<ul style="list-style-type: none"> ・他地域と比較することで、地元の良さを再確認する。 ・他地域の良いところをとりいれ、街づくりの主体者となれる力を育成する
堀川高校のSSHの実践指定を受け、小中が連携をしてポスター発表に取り組んでいる。各校において、教科や総合的な学習の時間などに探究活動を行うことで、課題を見つけ解決する力の育成を目指している。また、その研究結果を、ポスター発表という形式で発表し、まとめをすることによって、自らの考えを発信する力の育成も目指している。								

学びの約束・ルール

項目	小1 (1年)	小2 (2年)	小3 (3年)	小4 (4年)	小5 (5年)	小6 (6年)	中1 (7年)	中2 (8年)	中3 (9年)		
話し方・聞き方・読み方	<p>(話し方) ①聞き手を見て話す。 ②教室の一番遠くにいる人に届く声で話す。 ③文で話す。 ④理由をはっきりさせて話す。</p> <p>(聞き方) ①話し手の方に体を向けて聞く。 ②うなずきながら聞く。 ③自分の考えと比べながら聞く。</p> <p>(書き方) ①丁寧な字で書く。 ②習った漢字を使って書く。 ③書いたら読み返す。</p>						<p>※全校をあげて取り組んでいる。 ※学年が上がるにつれて、質を高めていくようにする。 ※読み方については、各学年国語科の目標に準拠。</p>		<p>・小学校で身につけた話形を基盤とし、自分の意見を明確にしながら話す。 ・相手の考えの要点を聞く。 ・書かれていることを正確に読み取る。</p>	<p>・相手意識を持ち、他者と自分の違いやつながりを考えながら、より良い関係作りを目指した話し方、聞き方を身につける。 ・書かれていることを読み取り自分の意見を持つ。</p>	<p>・より良い人間関係の構築を目指し、社会生活の中で活用できる話し方、聞き方を身につける。 ・正確な読み取りのもと、自分の考えを広げ、社会生活の中に活かそうとする。</p>
ノートづくり	<p>(ノートづくりの取組)</p> <p>① 単元の学習問題や学習課題を書き、青の枠で囲む。 ② 「めあて」を書き、赤の枠で囲む。 ③ 「ふり返し」を書いて、学習のまとめをする。 ④ 調べたことは、教科書や資料の内容をノートにそのまま写さず、自分の言葉で書くようにする。 ⑤ ナンバリングをするなどして、考えを分かりやすくまとめるようにする。 ⑥ 話型や関係図、矢印、吹き出しなどを使って、考えを深めるようにする。 ⑦ 「わかったこと」とそこから「考えたこと」を分けて書くようにする。</p> <p>※学年が上がるにつれて、質を高めていくようにする。 ※自主学習ノートでも、「めあて」と「ふりかえり」を書くようにする。</p>						<p>・学習内容を整理して復習に活用できるノート・ワークシートを作る。 ・自分の考えや振り返りを書き込む。</p>	<p>・学習内容を整理して復習に活用できるノート・ワークシートを作る。 ・学習のポイントまとめ、板書の写し以外の授業メモ、自分の考え、仲間の考えなどを書き込み、学習の跡、思考の流れが整理されたノート・ワークシート作りをする。</p>			
授業に向かう姿勢	<p>(準備) ①学習が始まる前に教科書やノートなどを机の上に出しておく。 ②ベル着の徹底。</p> <p>(けじめ) ①授業前と授業後のあいさつをする。 ②話す人が立ったら、すぐに話を聞こうとする。</p> <p>(姿勢) ①丁寧な言葉遣いで話し、みんなが気持ちよく学べるようにする。 ②分からないことは、質問したり、調べたりして解決する。 ③友達との学び合いを大切にする。</p>						<p>・授業規律を確立し、授業中の聞く場面・考える場面・表現する場面のけじめをつけ、仲間との学び合いを大切にする。</p>	<p>・主体的に授業に臨み、自分の考えを確立しながら仲間と協働的に学ぶ姿勢を身につける。</p>	<p>・自らの進路展望を持って学習し、将来の社会生活の中で生きる学力を身につけるべく、主体的、協働的に深く学ぼうとする。</p>		